

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2024. 2. 2

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
9-4 (138)	下から7行目	～予定の機械装置(取得見	～予定の構築物(取得見	2024. 1. 26
9-4 (138)	下から4行目	～機械装置圧縮特別勘定積立金として10,000,000円を積み立	～構築物圧縮特別勘定積立金として10,000,000円を積み立	2024. 1. 26
9-11 (145)	下から17行目	表中 機械装置 ～法定耐用年数は10年である。	表中 構築物 ～法定耐用年数は5年(定額法償却率0.200)である。	2024. 1. 26
9-11 (145)	下から15行目	～機械装置についてはそれぞれ5,600,000円及び2,800,000円を	～構築物についてはそれぞれ5,600,000円及び2,800,000円を	2024. 1. 26
9-11 (145)	下から13行目	～機械装置について3,500,000円をそれぞれ当期の費用に計上～	～構築物について3,500,000円をそれぞれ当期の費用に計上～	2024. 1. 26
9-11 (145)	下から11行目	～機械装置について定率法を選定し、所	～構築物について定率法を選定し、所	2024. 1. 26
9-31 (165)	下から3行目	③ 機械装置	③ 構築物	2024. 1. 26
9-32 (166)	上から6行目	③ 機械装置	③ 構築物	2024. 1. 26
9-32 (166)	上から15～18行目	(2) 機械装置 ① 償却限度額 $\frac{(11,970,000 - 228,000) \times 0.200}{11,970,000} = 2,348,400円 \geq$ $\frac{(12,600,000 - 228,000) \times \frac{12,600,000}{11,970,000}}{11,970,000} \times 0.06552 = 809,827円 \quad \therefore 2,348,400円$ ② 償却超過額 $(3,500,000 + 2,572,000) - 2,348,400 = 3,723,600円$	(2) 構築物 ① 償却限度額 $\frac{(12,600,000 - 228,000) \times \frac{12,600,000}{11,970,000}}{11,970,000} \times 0.200 = 2,472,000円$ ② 償却超過額 $(3,500,000 + 2,572,000) - 2,472,000 = 3,600,000円$	2024. 2. 2
9-32 (166)	調整欄	(機械装置) 3,723,600 3,723,600	(構築物) 3,600,000 3,600,000	2024. 2. 2